

○ 施策評価シート（評価対象年度：平成23年度）

施策目標主管部課かい名	建設部 道路管理課
評価シート作成者	課長 岩澤 斉朗

評価対象施策目標（二課かい目標） **43 身近な生活道路を安全で快適にする**

1. 総合計画基本構想におけるまちづくりの目標体系での位置づけ

①基本理念	4 人々が行きかい 自然と共生する便利で快適な まちづくり
②政策目標	11 だれもが快適に過ごせるまち
③施策目標	43 身近な生活道路を安全で快適にする
④施策の方向性	1 生活道路の整備 2 道路排水施設などの整備 3 だれもが利用しやすい道路空間の確保

2. 施策目標の達成方針

身近な生活道路を安全で快適にするため、道路の改善・改良及び狭あい道路の解消に努めます。
 橋りょうについては、阪神・淡路大震災を機に橋りょうの構造指針が平成14年3月に改正されたことにより、橋りょう耐震補強の整備促進を図るため、主要な14橋を定め、完了した5橋を除く9橋について27年度の整備完了を目指し、耐震補強工事を行い道路利用者の安全確保を図るとともに、緊急輸送路や道路の連続性を確保します。
 茅ヶ崎駅周辺の道路施設は老朽化が進んでいます。特に茅ヶ崎駅自由通路のエスカレーター・エレベーターは耐用年数を経過していることや、国道1号地下横断歩道のエレベーターや茅ヶ崎駅北口ペDESTリアンデッキのエスカレーター・エレベーターは耐用年数を迎えているため、駅周辺の道路施設等更新事業の着手を目指し、道路利用者の安全や安心を確保します。
 狭あい道路については、後退用地を取得・拡幅整備することで、交通・災害等の都市機能の向上を図り、安全・安心なまちづくりを推進します。
 平成12年5月に公布された通称「交通バリアフリー法」において、道路空間の利便性及び安全性が位置づけられ、高齢者・身体障害者等の移動に際しての負担を軽減するため、市道0107号線(桜道)道路整備事業を完了させたのちに、新たに、主要な道路の整備事業の着手を目指します。
 都市景観の形成や防災機能の向上、バリアフリー化等の観点から茅ヶ崎駅北口周辺地区を事業区域としております。今後は、無電柱化工事と歩道のバリアフリー化工事の着手を目指します。

3. 職員配置の状況

(24年3月31日現在)

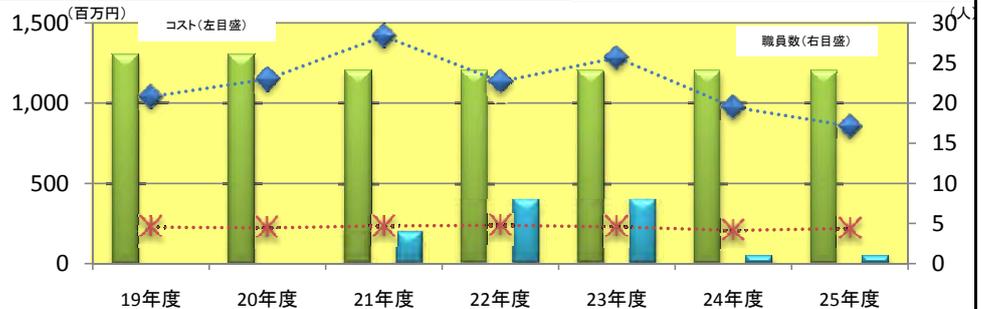
No.	担当	職名	在課年数	No.	担当	職名	在課年数
1	一	課長	1年 0月	16	補修担当	副主査G	2年 0月
2	補修担当	主幹補修担当	1年 0月	17	補修担当	技能労務職A	19年 0月
3	管理担当	課長補佐管理担当	3年 0月	18	補修担当	技能労務職B	11年 0月
4	補修担当	課長補佐補修担当	7年 0月	19	補修担当	技能労務職C	4年 0月
5	管理担当	主査A	4年 0月	20	補修担当	技能労務職D	10年 0月
6	管理担当	主任A	2年 0月	21	補修担当	技能労務職E	7年 0月
7	管理担当	主任B	5年 0月	22	補修担当	技能労務職F	17年 0月
8	管理担当	主任C	1年 0月	23	補修担当	技能労務職G	12年 0月
9	管理担当	主事A	4年 0月	24	補修担当	技能労務職H	21年 0月
10	管理担当	主事B	3年 0月	25	補修担当	臨時A	1年 0月
11	補修担当	副主査A	4年 0月	26	補修担当	臨時B	1年 0月
12	補修担当	主査B	2年 0月	27	補修担当	臨時C	1年 0月
13	補修担当	主任D	3年 0月	28	補修担当	臨時D	1年 0月
14	補修担当	主任E	3年 0月	29			年 月
15	補修担当	主任F	2年 6月	30			年 月
職員数計	32名（うち常勤 24名・再任用 名）外	非常勤嘱託 名・臨時 8名・その他 名）					

4. 施策推進コスト

(単位：事業、職員1人千円/職員数人)

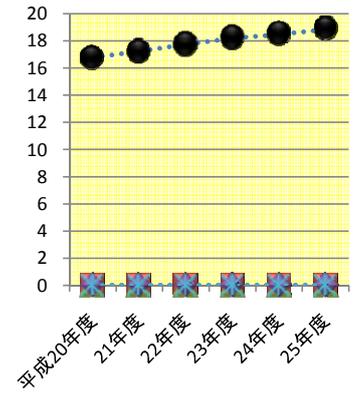
一般会計	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c	1,270,264	1,374,087	1,652,984	1,375,020	1,512,247	1,183,641	1,076,755
財源内訳							
特定国庫支出金	30,800	51,109	55,929	44,058	133,433	134,317	71,150
地方債							20,800
その他	15,167	17,312	24,319	25,083	20,812	79,554	11,053
一般財源	1,224,297	1,305,666	1,572,736	1,305,879	1,358,002	969,770	973,752
事業実施に係るコスト b(折れ線グラフ)	1,041,991	1,150,436	1,417,650	1,135,750	1,283,464	976,016	857,945
うち委託料	193,789	191,749	399,727	265,804	224,673	241,482	202,061
従事職員に係るコスト c(折れ線グラフ)	228,273	223,651	235,334	239,270	228,783	207,625	218,810
常勤職員数(棒グラフ左)	26	26	24	24	24	24	24
再任用職員数(棒グラフ中)	0	0	0	0	0	0	0
非常勤・臨時等職員数(棒グラフ右)	0	0	4	8	8	1	1

(備考)



5. 施策目標の達成状況

			平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
No.	指標名	目標値	—	—	—	—	目標値
	指標算出式・定義等	実績値	現状値	実績値	実績値	見込値	目標値
	単位	進捗率	—	—	進捗率	進捗率	100%
1	整備延長率	%	—	—	—	—	18.85
	=整備総整備延長÷2 ÷狭隘道路総延長		17.24	17.74	18.20	18.48	18.85
			—	—	59.6%	77.0%	100.0%
(指標の他団体比較)			(出所)				
団体名\年度	平成20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
茅ヶ崎市	16.79	17.24	17.74	18.20	18.48	18.85	
*							
(指標の進捗状況分析)							



6. 施策目標達成のため重点的に取り組む事務事業の状況

(単位：事業費 千円)

No. 事業名(会計区分)	指標名	指標名				
		平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
事業概要	事業費	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	指標値	—	—	目標値	目標値	目標値
	実績値	現状値	実績値	実績値	—	—
	達成率	—	—	達成率	—	—
1 狭あい道路整備事業(一般会計)	整備延長率	決 309,635	決 276,096	決 314,105	予 327,899	計 240,170
昭和61年度から「狭あい道路整備事業」として、狭あいな道路に接する敷地において、家屋の建築等を行う場合、また、自主的に後退する場合に、土地所有者からの申請に基づき実施している事業です。	—	—	—	18.11	18.48	18.86
	%	17.24	17.74	18.20	—	—
2 橋りょう耐震補強等整備事業	橋りょう数	決 366,672	決 71,212	決 103,106	予 44,771	計 48,250
阪神淡路大震災以降の構造指針改正に伴い、旧指針に基づき築造された主要な14橋りょうについて、平成27年度末を目標に耐震補強工事等を行います。	—	—	5/14橋	8/14橋	10/14橋	—
	数	1/14橋	3/14橋	5/14橋	—	—
3 鳥井戸地下道冠水対策事業	事業の進捗状況	決 93,150	決 210,201	決 107,000	予 0	計 0
鳥井戸地下道の冠水被害を軽減するため、雨水調整池・雨水排水施設工事を行います。 平成23年度末を目標に、機械、電気及び場内整備工事を完了し、供用開始をします。	—	—	事業完了	—	—	—
	%	土木工事	土木・建築・電気・機械	電気・機械・場内整備	—	—
4 茅ヶ崎駅北口周辺道路整備事業	事業の進捗状況	決 0	決 69,871	決 24,808	予 2,000	計 24,300
国や神奈川県は、無電柱化に対する時代の要請や課題への対応を図るため、「無電柱化推進計画」を策定しています。 都市景観の形成や防災機能の向上、バリアフリー化等の観点から茅ヶ崎駅北口周辺地区を事業区域とし、平成23年度までに市道2244号線の無電柱化工事を行います。	—	—	2244号線の完成	無電柱化工事	道路整備工事	—
	%	—	道路整備工事	道路整備工事	—	—

7. 施策目標達成に向けた取り組みの評価

① 施策目標達成に向けた指標の進捗状況	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 大きく遅れている 25年度目標値達成可能 25年度目標値達成困難
② これまでの取り組みと成果	<p>生活道路の整備については、主要な14橋の耐震補強整備の促進を図るため、23年度までに5橋の耐震補強工事を行い、道路利用者の安全確保を図るとともに、緊急輸送路や道路の連続性を確保しました。</p> <p>狭あい道路については後退用地を取得・拡幅整備することで、交通・災害等の都市機能の向上を図り、安全・安心なまちづくりを推進しました。</p> <p>道路排水施設などの整備については鳥井戸地下道冠水対策事業が23年度に完了し、本地下道における道路冠水を軽減し、道路利用者の安全安心を図ることができました。</p> <p>だれもが利用しやすい道路空間を確保するため、歩道の設置や歩道等のバリアフリー化を実施しました。主な事業は、市道5634号線(鶴嶺歩道)整備事業が24年度末に完了する予定であり、市道0107号線(桜道)整備事業等については、25年度末までに完了できるよう引き続き実施してまいります。</p> <p>茅ヶ崎駅北口周辺地区の都市景観の形成や防災機能とバリアフリーの向上のため、市道2244号線の無電柱化工事と歩道のバリアフリー化、ならびに北口駅前タクシー乗り場や自動車乗降場のバリアフリー化が24年4月末に完了しました。</p>
③ 課題認識と解決への方策	<p>身近な生活道路を安全で快適にするため、道路の改善・改良及び狭あい道路の解消に努めます。</p> <p>橋りょうについては、阪神・淡路大震災を機に橋りょうの構造指針が平成14年3月に改正されたことにより、橋りょう耐震補強の整備促進を図るため主要な14橋を定め、完了した5橋を除く9橋について27年度の整備完了を目指し、耐震補強工事を行い、道路利用者の安全確保を図るとともに緊急輸送路や道路の連続性を確保します。</p> <p>茅ヶ崎駅周辺道路施設は老朽化が進んでおり、施設の更新が求められています。特に、茅ヶ崎駅自由通路エスカレーター・エレベーターは耐用年数を経過し、朝夕の通勤通学時に緊急停止による事故の発生が予見されています。また、国道1号地下横断歩道エレベーターや、茅ヶ崎駅北口ベストラリアンデッキのエスカレーター・エレベーターは耐用年数を迎え、屋外設置のため故障による停止が目立ちはじめ、閉じ込め事故等が懸念されています。このため、駅周辺の道路施設等の更新事業の着手を目標し、利用者の安全な通行を確保します。</p> <p>狭あい道路については、後退用地を取得・拡幅整備することで、交通・災害等の都市機能の向上を図り、安全・安心なまちづくりを推進します。</p> <p>平成12年5月に公布された通称「交通バリアフリー法」において、道路空間の利便性及び安全性が位置づけられ、高齢者・身体障害者等の移動に際しての負担を軽減するため、歩道の段差解消や安全で快適な歩行空間の整備を行い、道路空間のバリアフリー化を図ります。主な事業としては、市道0107号線(桜道)道路整備事業や市道0210号線(梅田通り)道路整備事業等を早期に完了させるとともに、引き続き、主要な道路の整備事業の実施に向け努めます。</p> <p>都市景観の形成や防災機能の向上、バリアフリー化等の観点から茅ヶ崎駅北口周辺地区を事業区域とし、引き続き、無電柱化工事と歩道のバリアフリー化工事の着手に向け努めます。</p>
④ 議会等からの指摘・要望事項	<p>議会から狭あい道路整備事業については、地権者への配慮が重要であり、難しい事業ではあるが、進捗率が20%以下ということ鑑み、事業の趣旨を理解していただけるよう丁寧かつ、根気強く事業に取り組んでいくことを求められている。</p> <p>総合計画審議会による事務事業の外部評価から、橋りょう耐震補強等整備事業については、東日本大震災による市民ニーズの高まりを受け、地震発生時の利用者の安全及び緊急輸送路確保の観点から、早期の対策完了が求められている。</p>

8. 施策目標達成を目指して実施する事務事業

(単位:千円)

合計(ア) = (イ) + (ウ)

1,422,583	1,143,892	1,291,700	977,241	869,130
-----------	-----------	-----------	---------	---------

No.	会計区分	施策の方向性番号	事業名	24年度業務計画	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	1	狭あい道路整備事業	重点事業	309,635	276,097	314,105	327,899	240,170
2	一般会計	1	道路の占用、掘削等の許可に関すること		0	0	0	0	0
3	一般会計	1	道路の占用料等の徴収に関すること		0	0	0	0	0
4	一般会計	1	歩道段差改良工事		4,116	0	7,500	3,645	5,000
5	一般会計	1	市道7263号線道路整備事業		7,111	8,909	2,444	0	700
6	一般会計	1	市道5634号線(鶴嶺八幡宮参道)整備事業	重点事業	2,646	56,391	80,280	51,300	0
7	一般会計	1	橋りょう耐震補強等整備事業	重点事業	366,672	71,212	103,106	44,771	48,250
8	一般会計	2	鳥井戸地下道冠水対策事業		93,150	210,201	107,000	0	0
9	一般会計	1	道路舗装修繕事業	重点事業	211,943	137,720	170,718	151,350	198,502
10	一般会計	1	道路整備事業	重点事業	48,634	26,622	82,531	38,300	67,300
11	一般会計	1	側溝浚渫事業		13,507	13,057	11,217	16,536	10,865
12	一般会計	1	茅ヶ崎駅エレベーター、エスカレーター維持管理		12,084	9,491	9,568	9,000	11,500
13	一般会計	1	駅周辺及び道路施設等の維持管理		59,623	62,717	65,477	70,133	75,672
14	一般会計	1	道路安全施設設置事業		71,518	69,792	73,319	72,396	73,805
15	一般会計	1	市道等舗装事業		22,035	5,650	21,527	14,715	17,000
16	一般会計	1	市道改良事業		733	2,834	500	500	500
17	一般会計	1	土木施設災害復旧事業		2,804	0	0	3,000	3,000
18	一般会計	1	道路の管理		16,551	13,057	21,742	20,795	18,345
19	一般会計	1	放置自動車の撤去		24	3	30	21	21
20	一般会計	1	道路舗装損傷復旧事業		22,662	22,619	22,093	23,000	23,000
21	一般会計	1	道路小規模修繕事業		16,388	15,360	14,285	14,500	16,000
22	一般会計	1	受託土木工事の設計、施工及び監督		0	0	0	0	0
23	一般会計	1	幹線道路維持保全計画		2,048	0	0	0	0
24	一般会計	3	茅ヶ崎駅北口周辺道路整備事業	重点事業	0	69,871	24,808	2,000	24,300
25	一般会計	3	市道0210号線(梅田通り)道路整備事業		0	0	0	14,283	10,200
26	一般会計	3	市道0107号線(桜道)道路整備事業	重点事業	0	0	14,100	40,400	25,000
27	一般会計	0	災害応急対策活動		0	0	0	0	0
28	一般会計	0	庁内共通事務		0	0	0	0	0
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
			振り分け不能額		138,699	72,289	145,350	58,697	0
			小計(イ)		1,422,583	1,143,892	1,291,700	977,241	869,130

No.	会計区分	第5次実施計画期間中に実施し、終了した事業名	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1					—	—	—
2					—	—	—
3					—	—	—
4					—	—	—
5					—	—	—
6					—	—	—
7					—	—	—
8					—	—	—
9					—	—	—
10					—	—	—
11					—	—	—
12					—	—	—
13					—	—	—
14					—	—	—
15					—	—	—
		小計(ウ)	0	0	—	—	—

(備考)

--	--	--	--	--	--	--	--